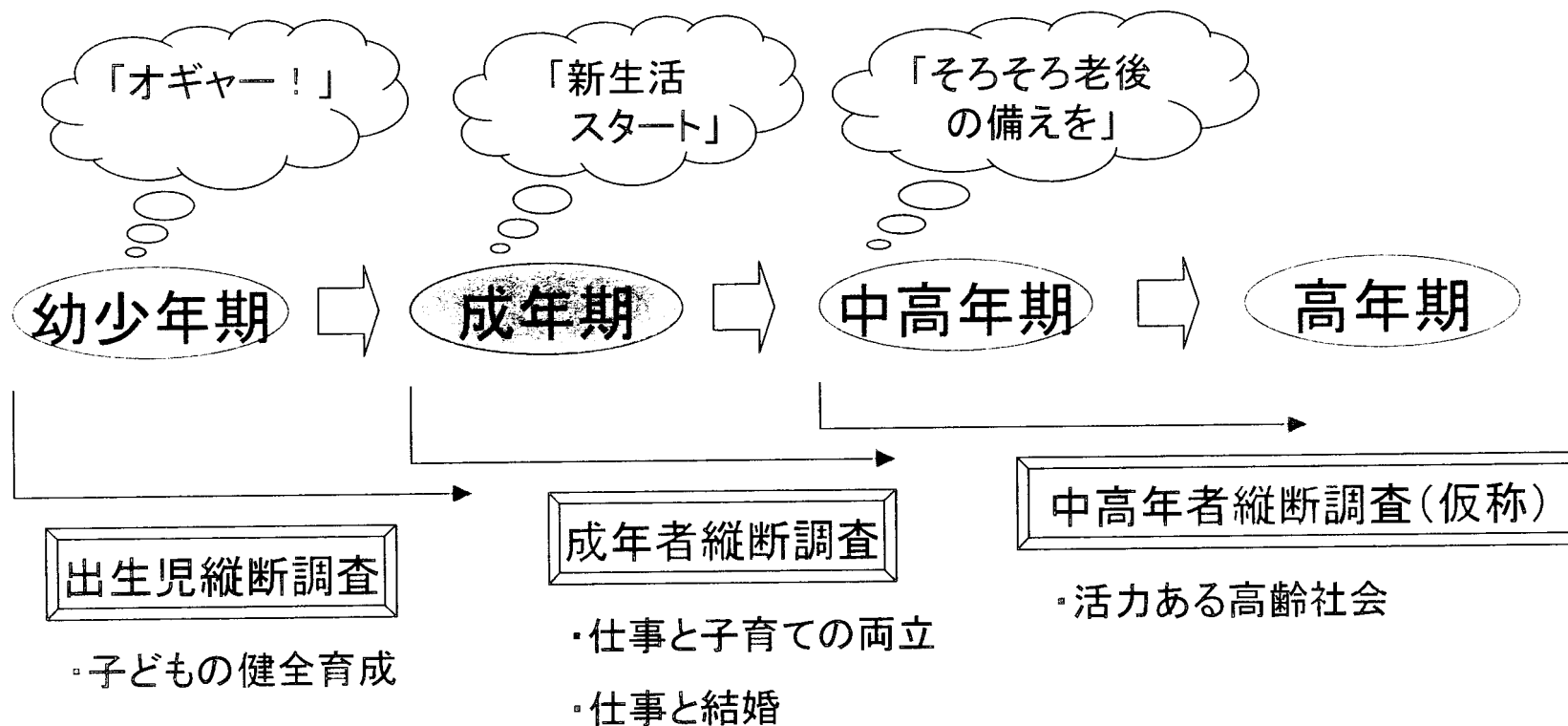


# 3つの縦断調査の位置付け



## 中高年者縦断調査（仮称）について

### 1 目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中高年者世代の50歳から59歳の男女を追跡して、その『健康・就業・社会活動』について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画、実施、評価のための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査の対象及び客体

平成17年10月末現在に50～59歳である男女を対象とし、平成16年国民生活基礎調査（大規模年）で設定された調査地区内の当該男女43,250人を客体とする。

### 3 調査事項

家族状況、健康状況、就業状況（資格、能力開発等を含む。）、社会活動、住居・家計状況 等

### 4 調査時期

平成17年11月

### 5 調査方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に被調査者が自ら記入し、後日、密封方式にて調査員が回収する方法により調査を実施する。

### 6 調査経路

厚生労働省 - 都道府県・指定都市・中核市 - 保健所 - 調査員 - 世帯員

「中高年者の生活に関する縦断調査(仮称)」のコンセプト

